

国家鉄道改革の動き

蔣 垂東 文教大学文学部教授

1. 中国鉄路総公司令、株式会社化へ

6月18日、中国鉄路総公司は、株式会社に生まれ変わり、「中国国家鉄路集团有限公司」として北京で正式に発足した。中国政府が進める国有企業改革の重要な一環である。株式会社となった新生「中国国家鉄路集团有限公司」の概要は以下の通りである。

1.1 企業の名称、資本関係

「中国国家鉄路集团有限公司」は、国務院(内閣)の批准を得て、「中華人民共和国公司法」(=企業法)に基づいて設置された中央政府が管理する全額国有資本の独資企業であり、政府委託の投資機関で、国家保有の株主会社である。登録資本は17,395億元(1元=約17円、以下同じ)で、財政省が国務院の替わりとして出資者の職責を担う。前中国鉄路総公司の債権、債務、ブランド、資格証明、知的所有権は全て新会社によって継承される。

正式名称は「中国国家鉄路集团有限公司」(英語表記=China State Railway Group Co., Ltd)、略称は「中国鉄路」(英語表記=CHINA RAILWAY, 縮略=CR)。

国有鉄道の株式会社化は、総合交通運輸体系の屋台骨としての鉄道の役割の発揮、国有鉄道資本効率の向上、企業発展の内的動力の向上、市場活力と危機対応能力の強化、近代的企業制度の確立、法人としての企業組織の整備、企業管理運営水準ならびに競争力の強化、国有鉄道の市場化の促進、鉄道旅客・貨物輸送サービスの向上、利用者のニーズの多様化への対応など多くの面においてメリットがあるとされている。

出典:2019/06/18 中国国家鉄路集团有限公司 HP

http://www.china-railway.com.cn/xwzx/ywsl/201906/t20190617_94563.html

1.2 事業範囲と職責の所在

新しい会社は、中国の鉄道の旅客、貨物輸送を主業とし、多角経営を行う。鉄道輸送の統一的指令、輸送力配置の総合協調、中央政府の定めた公的輸送任務、鉄道業輸送収入の清算及び入金管理に係わる業務を担う。国家鉄道新線の供用運営の安全評価、輸送安全の確保、サービス品質の改善、経営効率の向上、市場競争力の強化、高品質の発展、国有資産の価値の保持と増大、国有資本の強化と規模拡大に責任をもつ。政府による監督管理および大衆による監督を受ける義務をもつ。

1.3 経営陣と企業組織

株主総会を置かず、董事会(取締役会)と経理層(社長・副社長会)を置く。経営陣は、董事長(取締役会長)陸東福(LU Dongfu)、総経理(取締役社長)楊宇棟(YANG Yudong)の他に、取締役副社長1名(甄忠義)、副総経理(副社長)5名(李文新 LI Wenxin、黄民 HUANG Min、王同軍 WANG Tongjun、劉振芳 LIU Zhenfang、郭竹学 GUO Zhuxue)、共産党中央規律委員会国家監査委員駐在組長(監査訳)1名(孫懷新 SUN Huaixin)より構成される。

企業組織は、大きく本社機能部門と企業部門の二つからなる。本社機能部門は、27の社内内部局、3つの直属機関、12の派出機関、1つの国務院委託機関に分かれる。

27の社内内部局:

弁公庁(取締役会事務局)、発展・改革部、企業管理・財務部、財務部、科学技術・情報化部、人事部、労働・衛生部、国際合作部、経営開発部、物資管理部、運輸統括監督局(総指令長室)、旅客運送部、貨物運送部、運行調整部、車両部、工事電気部、建設管理部、完全監督管理部、監査・考課部、宣伝広報部、共産党組織巡視指導弁公室、労働工会(労働組合)、鉄道共産主義青年団委員会、直属機関共産党委員会、退職幹部局、四川・チベット鉄

道建設総指揮部本部

3つの直属機関：

工程管理中心、工程質量監督管理局、資金清算中心。

12の派出機関：

安全監督管理特派員事務所と監査特派員事務所各6つ

瀋陽、北京、武漢、上海、成都、蘭州に各1つ設置

国務院委託機関：

鉄道公安局

- ・中国鉄道出版社有限公司
- ・『人民鉄道』報業有限公司(業界新聞)
- ・中国鐵路專運センター
- ・中国鐵路文工団(文芸団体)
- ・中国火車頭体育工作隊(スポーツチーム)

関連事業部門3：

- ・鉄道共産党学校
- ・中国鉄道博物館
- ・鉄道戦時緊急事態対応舟橋処

企業部門は所属企業と関連事業部門に分かれ、2018年末現在の所属企業は次の34社。

(1)鉄道局集团公司18社：

- ・中国鐵路ハルビン局集团有限公司
- ・中国鐵路瀋陽局集团有限公司
- ・中国鐵路北京局集团有限公司
- ・中国鐵路太原局集团有限公司
- ・中国鐵路フフホト局集团有限公司
- ・中国鐵路鄭州局集团有限公司
- ・中国鐵路武漢局集团有限公司
- ・中国鐵路西安局集团有限公司
- ・中国鐵路濟南局集团有限公司
- ・中国鐵路上海局集团有限公司
- ・中国鐵路南昌局集团有限公司
- ・中国鐵路広州局集团有限公司
- ・中国鐵路南寧局集团有限公司
- ・中国鐵路成都局集团有限公司
- ・中国鐵路昆明局集团有限公司
- ・中国鐵路蘭州局集团有限公司
- ・中国鐵路ウルムチ鉄道局集团
- ・中国鐵路青海一チベット集团

(2)四川・チベット鐵路有限公司

(3)専門輸送企業3社：

- ・中鉄コンテナ輸送有限責任公司
- ・中鉄特殊貨物輸送有限責任公司
- ・中鉄速達有限公司

(4)その他の関連企業12社

- ・中国鐵路投資有限公司
- ・中国鉄道科学研究院集团有限公司
- ・中国鐵路經濟企画研究院有限公司
- ・中国鐵路信息科技有限公司
- ・中国鐵路設計集团有限公司
- ・中国鐵路国際有限公司
- ・鉄総服務有限公司

なお、規定により、今後事業発展の必要から法規に従って、子会社、支社、事務所などを新規に設置することができる。

出典:中国国家鐵路集团有限公司 HP

<http://www.china-railway.com.cn/gsis/gsj/>

<http://www.china-railway.com.cn/gsis/zzj/>

2. 鉄道貨物運賃等諸費用、引き下げへ

李克強首相が3月の全国人民代表大会(国家)で行った施政方針演説により、4月1日より鉄道輸送サービス企業に対する企業増値税(消費税に相当)の税率が10%から9%に引き下げられた。これを踏まえ、中国鐵路総公司は4月1日より、国有鉄道の貨物運賃の引き下げ、荷卸し関連費目6項目の撤廃、貨車利用時間延長費など4項目の引き下げを実施すると発表した。これらの措置より、一年間に荷主と企業に約60億元(1元=約17円、以下同じ)の負担を軽減することができる。

5月31日、中国鐵路総公司は、実態経済を支援する措置として、新たに同日より、鉄道専用線の整備維持費、機関車貨車整備点検サービス費の一部撤廃と引き下げを発表した。この措置により、荷主と企業に約9.4億元の利益を供与することになる。

4月1日より実施している貨物運賃などの引き下げと併せて、一年間に荷主と企業の負担を約70億元軽減させることができ、物流コストの削減につながる。

出典:中国国家鐵路集团有限公司 HP

http://www.china-railway.com.cn/xwzx/ywsl/index_3.html

http://www.china-railway.com.cn/xwzx/ywsl/201905/t20190531_94408.html

3. 7月10日より夏期ダイヤ、実施へ

7月10日零時より、夏期ダイヤの実施が始まる。今季夏期ダイヤでは、ピーク時期一日の輸送力が26万席増えるなど、旅客と貨物の輸送力がともに強化された。

旅客輸送では、直通列車は常時39往復/日、ピーク時25往復(高速列車)を増発する。重慶西、天津西、南寧東、肇慶東、汕頭の5駅を香港線の運行駅に加えることによって、香港へ直通する高速鉄道駅は58に増える。運行計画の見直し、走行経路の調整などにより運行効率も大幅に向上する。また、北京南—青島北間は48分、北京西—北海間は2時間51分、北京西—南寧間は2時間16分、上海—漯河間は2時間19分、南寧—広州間は30分、南寧—昆明間は45分、昆明—広州間は1時間42分、昆明—広州間は1時間10分、ハミ—ウルムチ間は25分などと、主要区間の最短所要時間は大幅に短縮される。

貨物輸送では、中国—欧州定期貨物列車国内運行区間を2路線増えて70路線になる。フフホト—唐山間総重量1万トン以上の大重量貨物列車の運行本数を39往復から45往復に増発、侯山—月山、襄陽—重慶、蘭州—ウルムチ、ウランチャプ—通遼など主要貨物ルートで貨物列車の運行本数を14往復増発する。

出典:2019/06/19 中国国家鉄路集团有限公司 HP

http://www.china-railway.com.cn/xwzx/ywsl/201906/t20190611_94464.html